

平成30年度日本色彩学会関西支部大会<オープンカラーラボと研究発表会>
 <3色で楽しむ学びの場> 一般参加者(聴講・見学) 募集
 (関西支部第3回西日本活性化事業)

関西支部長 森本 一成

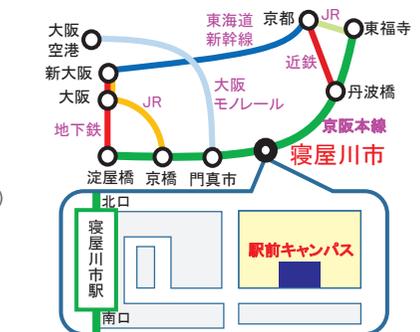
2019年3月2日(土)に平成30年度関西支部大会を開催いたします。昨年からはじめたオープンカラーラボは大変好評でしたので今年も企画しました。また、従来の研究発表に加えて、今回は特別講演「色彩とヒューマンインタフェース ー楽しいカラーBADUIの世界ー」を企画しました。これらの3つの企画は、多様な色彩研究領域の交流と融合を実現し、3つの側面から色彩に関する議論を深めることのできる、いわゆる「3色(側面)で楽しむ学びの場」を提供するものです。また、本企画は関西支部が実施する第3回西日本活性化事業として行うもので、現会員並びに将来の会員を対象にした有意義な企画になるものと考えています。

今年も発表・展示等の参加各位の情報を「カラーラボカタログ」集として発行し、一般の参加者にも提供いたします。

多くのご参加を期待しています。

日 時：2019年3月2日(土) 10:00～18:00 (受付 9:30から)

会 場：大阪電気通信大学駅前キャンパス(京阪本線 寝屋川市駅下車3分)



関西支部大会プログラム

開会のあいさつ

◆研究発表会 10:05～11:20 (発表は質疑応答を含め各15分)

- | | |
|---|--|
| <p>① 視覚特性に基づく景観画像の階調制御
片野坂拓人, 西 省吾(大阪電気通信大学)</p> <p>② DCGANを用いた色素斑形状自動生成と皮膚画像への合成
土居元紀, 伊藤紘輝, 西 省吾, 来海 暁(大阪電気通信大学)</p> <p>③ 種々の光源下での新旧JIS安全色票の見え方と順応に関する考察
田村繁治(産業技術総合研究所), 茂里 康(和歌山県立医科大学)</p> | <p>④ 反対語の色の連想に関する300名のアンケート調査結果—国際比較のために—
吉村耕治(関西外国語大学短大部名誉教授), 山田 有子(挿絵画家・色彩講師), 桑野優子(カラープランナー), 齊藤美雪(日本こども色彩協会)</p> <p>⑤ 色彩調和判断に関わる脳機能解析
池田尊司(金沢大学), 荻阪直行(京都大学), 荻阪満里子(情報通信研究機構)</p> |
|---|--|

◆オープンカラーラボ・プレゼンテーション(1) 11:30～12:30 (プレゼンは各10分+ブース対応20分)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| * 大阪電気通信大学情報学研究所 | * 金沢大学子どもこころの発達研究センター |
| * 関西大学総合情報学部 浅野 晃ゼミ | * 京都工芸繊維大学美術工芸資料館染織関連資料調査研究会 |

休憩 12:30～13:30

◆特別講演 13:30～14:30

「色彩とヒューマンインタフェース ー楽しいカラーBADUIの世界ー」

中村聡史 教授(明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科)

講演内容: 世の中にはエレベータのボタンやトイレの洗面台, 建物の扉やウェブの入力フォームなど, ひとを惑わせたり、混乱させてしまったり、失敗させてしまったりするユーザインタフェースが多数存在しています。その中でも、色に関してひとを惑わせてしまうものも少なくなく、ひとを間違えたものに誘導してしまったり、そもそもカラーユニバーサルデザインなどが考慮されておらず、ただただ困惑させてしまうユーザインタフェースになっているものも珍しくあ

りません。本講演では、色に関してひとを惑わせたりユーザインタフェースについて、講演者自身がこれまでに遭遇した様々なユーザインタフェースを紹介することにより、まずその世界について興味をもってもらうとともに、そこに潜む問題点や、なぜそうした困ったものが産まれてしまうのかといった点について、事例ベースで説明させていただきます。

◆オープンカラーラボ・プレゼンテーション(2) 14:40～16:00 (プレゼンは各10分+ブース対応30分)

- | | | |
|------------------|-------------------|----------------|
| * エックスライト社 | * コニカミノルタジャパン株式会社 | * 一般社団法人 TOCOL |
| * 株式会社トプコンテクノハウス | * 株式会社分光応用技術研究所 | |

休憩 16:00～16:10

◆オープンカラーラボ・プレゼンテーション(3) 16:10～17:30 (プレゼンは各10分+ブース対応30分)

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| * 北口紗織研究室 | * 篠田博之研究室 | * 須長正治研究室 | * 山内泰樹研究室 | * 吉村色彩文化研究所 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|

閉会の挨拶

■オープンカラーラボ エントリーリスト

下記掲載のそれぞれの研究室・研究者、企業参加各位から、プレゼンテーションをはじめ、ポスター掲示や展示・デモ・指導を実施していただきます。前回同様ポストイトによる質疑応答も実施します。

参加研究室・研究者 (50音順・敬称略)	プレゼン・展示・デモ等の内容
大阪電気通信大学情報学研究所 (土居元紀, 西 省吾)	情報学研究所視覚情報学研究室の研究について、皮膚画像の解析と合成や絵画のデジタルアーカイブなど、色彩に関連する取り組みを紹介します。展示及びデモも行います。
金沢大学 子どものこころの発達研究センター 臨床・社会実装研究部門 (菊知 充, 池田尊司)	発達障がいを抱える子どもの感覚とコミュニケーションの特性について研究を行っています。脳磁図(MEG)による脳機能研究を中心に、自閉スペクトラム症児の知覚・認知の研究に取り組んでいます。教育面では、大阪大学大学院連合小児発達学研究所に金沢校として参加しています。展示・デモはありません。
関西大学総合情報学部 浅野 晃ゼミ	色彩・感性・画像がテーマのゼミです。学生のちょっとした興味を、教員が手助けすることで、対外的に発表できる研究に育てています。オープンカラーラボでは、動的に変化する色彩への調和感の研究などをご紹介します。展示・デモはありません。
京都工芸繊維大学美術工芸資料館 染織関連資料調査研究会 (並木誠士, 森本一成ほか)	染色織物の画像データベースの構築と資料の公開、染色標本古裂見本の調査、裂地の画像処理による織構造解析など、美術工芸資料館所属の染色織物について行っている調査研究と教育・研究用資料DBの作成について紹介します。染色織物を撮影した刊行物の一部を展示をします。
北口紗織研究室 (京都工芸繊維大学)	「感性の見える化」として、光学特性や物理・力学特性など様々な側面からモノが人の心理に与える影響についての研究、「品質管理と色・光」として、染色堅牢度、耐光堅牢度の研究、「デザインと感性」として感性の機械学習を用いた解析の研究を紹介します。展示・デモはありません。
篠田博之研究室 (立命館大学)	心理物理学的手法を用いた人の視覚系の情報処理機構の解明と色彩工学への応用に取り組んでいます。今回は様々な環境下で色や画像を観察した時の見えの変化について報告します。スマホやタブレットが様々な環境でどう見えるのか、目撃証言における色に関する証言をどう評価したらよいかに対して有用な情報を提供します。あわせてデモも行います。
須長正治研究室 (九州大学)	色覚には先天的な多様性があります。我々の研究室では、その多様性の特性を明らかにし、さらに、得られた知見を色彩デザインや色彩工学へ応用していくことに取り組んでいます。当日、最近行っている研究を紹介します。
山内泰樹研究室 (山形大学大学院)	人間の色覚メカニズムの解明から、色再現工学まで幅広く色覚研究に取り組んでいます。当日は、色覚の個人差や色再現に関する研究成果を中心に紹介いたします。
吉村色彩文化研究所 (吉村耕治, 山田有子, Stephen Shrader)	現在、AIC (国際色彩学会) の The Language of Colour 研究会の活動に協力し、色を表す言葉の国際比較を推進しています。例えば、主要な色彩のイメージ (warm, cold, cheap, expensive, dangerous など) の国際比較に協力度中。言語と色彩を、研究の中心テーマにしています。

参加企業 (50音順・敬称略)	展示・指導・プレゼンいただく内容
エクスライト社	パントン社を子会社に持ち、1915年創業のマクベス社、その後のグレッグ社の歴史を引き継ぐエクスライト社は色の指定から、測定、レポートまで統合的な色のソリューションを開発、品質管理向けに提供しています。測色計の他、最新のデジタルソリューションや、アピアランス (外観) 測定についてご紹介いたします。
コニカミノルタジャパン株式会社	コニカミノルタは長年培ってきた測光技術と品質管理体制のもとで開発・生産された各種計測機器を展示し、物体色・光源色を問わず最適な方法を提案致します。新しい技術についてもこの場で発信したいと思っております。
一般社団法人 TOCOL	ICT色彩教育の未来を支える学習用ソフト: 2020年からスタートするタブレット学習。いま、教育やプロフェッショナルの現場でデジタルトランスフォーメーションの動きが活発化しています。TOCOL Lab.では、急速に変化する情報やテクノロジーに振りまわされずに、誰もが使いやすく、楽しく学びながら体系的かつ実践的スキルを身につけられる「Web学習システム」、「ソフトウェア」、「デジタルコンテンツ」を開発・提供しています。
株式会社トプコンテクノハウス	「光」の持つ無限の可能性を追求し、自動車やFPD業界など広く活用されている分光放射計、色彩輝度計、照度計などの光計測器を提供しています。照明や景観、室内環境、歴史的染色、絵画等で活用可能な140万ポイントの分光スペクトルを一度に計測可能な2D分光放射計の展示をいたします。
株式会社分光応用技術研究所	オリジナルの光学設計による分光機器の開発をしています。今回はハイパースペクトルカメラ(ソフトウェア付属)と空間分解分光法により半透明体の散乱係数・吸収係数を測定できるSRS透明度測定装置を展示します。ハイパースペクトルカメラの使用を検討されている方やハイパースペクトルカメラでどんなことができるのか興味がある方、また、肌の透明性やその他の固体・液体の散乱係数・吸収係数の測定を検討されている方など、ハードだけでなくソフト・システムを含めて、課題について一緒に考えさせていただきますので、プースまでお越し下さい。

参加費：会員3,000円 学生・院生1,000円 非会員4,000円

*上記の金額を研究発表者、オープンカラーラボプレゼンター、聴講・見学参加者など、皆様から申し受けま
す。ただし、企業参加枠で有料参加されています各社(5社・法人)様には1名に限り参加費は無料です。

申 込：件名を「関西支部大会参加」とし、氏名・所属・連絡先・e-mail・会員/非会員を明記の上、下記までお申込
みください。支部大会全体の参加人数等を把握いたしたく、当日参加も可能ですが、2月末までにお申し込み
みいただけますと幸いです。

日本色彩学会関西支部(辻整) e-mail: tsujino@gold.ocn.ne.jp Tel.06-6231-4071